

2018年8月22日

株式会社朝日新聞社
広報部長 後田 竜衛 様

朝日新聞英語版の「慰安婦」印象操作中止を求める有志の会
ケント ギルバート
山岡 鉄秀

事実誤認および英語記事秘匿に関するご質問

冠省

朝日新聞デジタル英語版で、8月15日付の下記二つの記事を確認致しました。

1. Diplomacy alone cannot resolve 'comfort women' issue, says Moon
2. Taiwan unveils 'comfort women' statue, demands apology, redress

最初の記事は韓国の文大統領が慰安婦問題は二国間の外交だけでは解決しないと書いたという記事ですが、ここにも通例の以下の表現が登場します。

Comfort women refers to those who were forced to provide sex to wartime Japanese troops. Many were from the Korean Peninsula, a Japanese colony from 1910 to 1945.

これを英語話者が読めば、慰安婦として働いた女性の**大多数**が日本の植民地であった朝鮮半島から連れてこられたと読めます。朝鮮半島は日本の植民地ではなく、日本の一部(annexation)でしたが、歴史認識の違いはともかく、慰安婦のマジョリティが朝鮮人だったという印象を与えることは史実に反します。慰安婦の人数や人種構成には諸説ありますが、日本人女性が大きな割合を占めていたことは明らかです。

ふたつ目の記事は台湾で初の慰安婦像が建ったという内容ですが、この記事中にも以下の表現が登場します。

Taiwan was a Japanese colony from 1895 to 1945. Many Taiwanese women were forced to provide sex to Japanese troops as "comfort women" during World War II.

ここでも漠然と「many」という単語が使われており、やはり植民地から大勢の女性が強制的に慰安婦として狩り出されたという印象を受けます。まさに、吉田清治氏による「慰安婦

奴隷狩り」を彷彿とさせます。

かつて御社は慰安婦の数を 8 万人から 20 万人と書いて、大きな問題となりましたが、今度は「many」という単語を使いながら、慰安婦の大半が非日本人であったという印象を広げています。

御社は再三、歴史研究の蓄積を考慮して表現を選ぶとおっしゃっているところ、下記の質問にご回答いただけますよう、お願いいたします。

1. 慰安婦の大半が朝鮮人であったと認識しているのか？
2. 慰安婦の人種別の割合をどのように認識しているのか？

それぞれ根拠を示してお答え願います。

事実を伝えるのが報道機関の役割であることは言うまでもありません。現状では御社の報道には事実誤認が含まれている可能性があり、重大な問題ですので、真摯な回答をお願いいたします。

次の質問です。

去る 7 月 23 日付の御社回答には、以下の記述がございました。

『朝日新聞が吉田清治氏の証言を虚偽と判断して記事を取り消したことについて、新聞紙面では 2014 年 8 月 5 日付朝刊の特集記事で伝えました。「朝日新聞デジタル」では現在も、下記の URL で紙面を掲示しています。

(<http://www.asahi.com/shimbun/3rd/2014080516.pdf>)

英語版の紙面は現在発行していませんが、2014 年 8 月 5 日付記事の英訳版は「朝日新聞デジタル」で 2014 年 8 月 22 日に掲載し、現在も下記の URL で全文閲覧できます。(<https://www.asahi.com/articles/SDI201408213563.html>) 』

しかしながら、この (<https://www.asahi.com/articles/SDI201408213563.html>) に存在する記事「Testimony about 'forcible taking away of women on Jeju Island': Judged to be fabrication because supporting evidence not found (日本語)「済州島で連行」証言 裏付け得られず虚偽と判断」のソースページを見ると、次のようなタグが打ち込まれています。

<meta name="robots" content="noindex, nofollow, noarchive"></meta>

これはすなわち、この吉田清治氏の慰安婦強制連行を虚偽と判断した記事に、グーグルなどのサーチエンジンによって検索されないようにするためのコマンドが埋め込まれているということです。つまり、非公開と同じ状態です。

同様に、こちらの記事にも同じタグが打ち込まれていることが判明しました。

Confusion with 'volunteer corps': Insufficient research at that time led to comfort women and volunteer corps seen as the same

(日本語) 「挺身隊」との混同 当時は研究が乏しく同一視

(URL) <http://www.asahi.com/articles/SDI201408213564.html>

一方、他の記事、たとえば、

Forcibly taken away: Coercion that led to lost freedom existed

(日本語) 強制連行 自由を奪われた強制性あった

(URL) <http://www.asahi.com/articles/ASG8P3CLFG8PULPT001.html>

という御社の主張を強調する記事にはそのようなタグはありません。

これは客観的に判断して、御社の誤りを認める2つの記事だけは検索されず、実質非公開とされていることを意味します。我々の「吉田証言記事撤回を海外に告知して欲しい」という申し入れに対し、御社はその英訳版がネット上に今でも存在すると回答しましたが、実際にはその記事に直接辿り着くことはできません。たとえ朝日新聞サイト内で記事タイトルをそのまま入力して検索してもヒットしないのです。



The Asahi Shimbun | Asia & Japan Watch

↑ TOP Japan News ▾ Politics Business Sports Culture ▾ Travel

The Asahi Shimbun > Search

Search

Testimony about 'forcible taking away of women on Jeju Island': Judged to be fabrication because supporting evidence not found- Search

Your search - Testimony about 'forcible taking away of women on Jeju Island': Judged to be fabrication because supporting evidence not found- did not match any articles.

Search

Confusion with 'volunteer corps': Insufficient research at that time led to comfort women and Search

Your search - Confusion with 'volunteer corps': Insufficient research at that time led to comfort women and volunteer corps seen as the same- did not match any articles.

現状では、予め正確な URL を知らない限り、隠されていない他の記事の下に位置するリンクを辿る以外にこれらの記事に辿り着く術がありません。言うまでもなく、これでは誤報を認めたことを海外に発信したことには全くなりません。それどころか、客観的に見て、この二つの不都合な記事を意図的に秘匿していたこととなります。これは、言論機関にあるまじき不公正な行為であり、我々に留まらず、多くの読者を欺く行為ではないでしょうか？

ご質問です。

3. これらふたつの記事に「"noindex, nofollow, noarchive"」のタグを加えることに合理的根拠があるのでしょうか？あれば教えてください。
4. このような、読者の立場から見れば恣意的としか思えない操作は、編集局の判断で行われるのでしょうか？それとも他の部局の判断が介在しているのでしょうか？責任の所在をご教示ください。

以上、上記4つの質問にご回答お願い致します。8月31日までにお問い合わせ申し上げます。

早々

朝日新聞英語版の「慰安婦」印象操作中止を求める有志の会

〈連絡先〉〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-2 桜ビル8階 内田智法律事務所内

TEL: 03-5357-1401 FAX: 03-5357-1402